「私の共同体の者たちは、拒む者を除いてすべて天国に入る。」このような声が上がった：「アッラーの使徒よ、誰が拒むでしょうか？」彼（預言者）は言った：「誰であれ、私に従う者は天国に入り、私に反する者は（それを）拒んだのだ。」

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はこう言った：「私の共同体の者たちは、拒む者を除いてすべて天国に入る。」このような声が上がった：「アッラーの使徒よ、誰が拒むでしょうか？」彼（預言者）は言った：「誰であれ、私に従う者は天国に入
り、私に反する者は（それを）拒んだのだ。」 [真正] [アル＝ブハーリーの伝承]

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）はその共同体に吉報を伝えて、こう言った：「私の共同体の者たちは、すべて天国に入る。」私の共同体とは、つまりイスラーム共同体のことである。それから、それらの者たちから「拒む者」を除外した。つまり、それは天国に入る原因となる服従行為を放棄することによって、「反抗」する者たちのことである。なぜなら、何かを達成するために絶対に必要なことを放棄するのは、それを拒むのと同様だからである。この除外は、厳しい警告である。 また、この「共同体」が、イスラームへと呼びかけている共同体のことと解釈するのであれば、「拒む者」は「服従することを受け入れないことによって、不信仰の状態にある者」ということになる。 教友たちはこう言った：「アッラーの使徒よ、誰が拒むでしょうか？」 それで預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は、答えて言った：「誰であれ、私に従う者」つまり預言者がもたらしたものに服従する者は、天国に入ると。 一方、「私に反する者」つまり信じず、禁じられた物事を行う者は、「（それを）拒んだ」つまり拒否したことにより、悪い帰着地がある。 結論として、「拒んだ者」が不信仰だった場合、そもそも天国には入らない。一方、それがムスリムだった場合、地獄の焔で浄められるまでは天国には入れない、ということにある。ただし、アッラーのお赦しにより、多くの罪を犯していたとしても、罰されないということもあり得る。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/4947